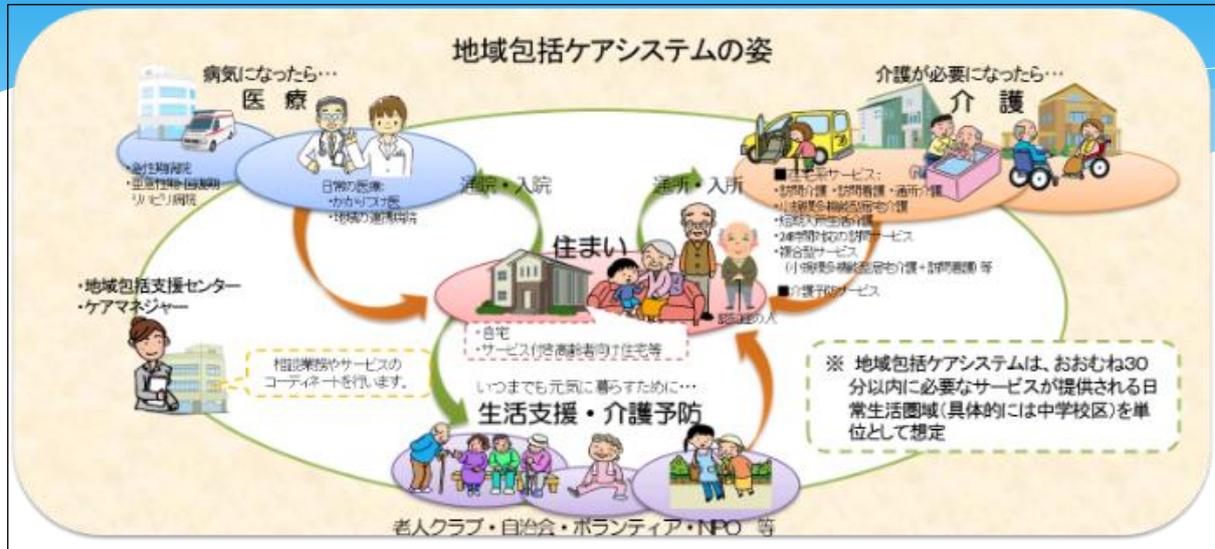
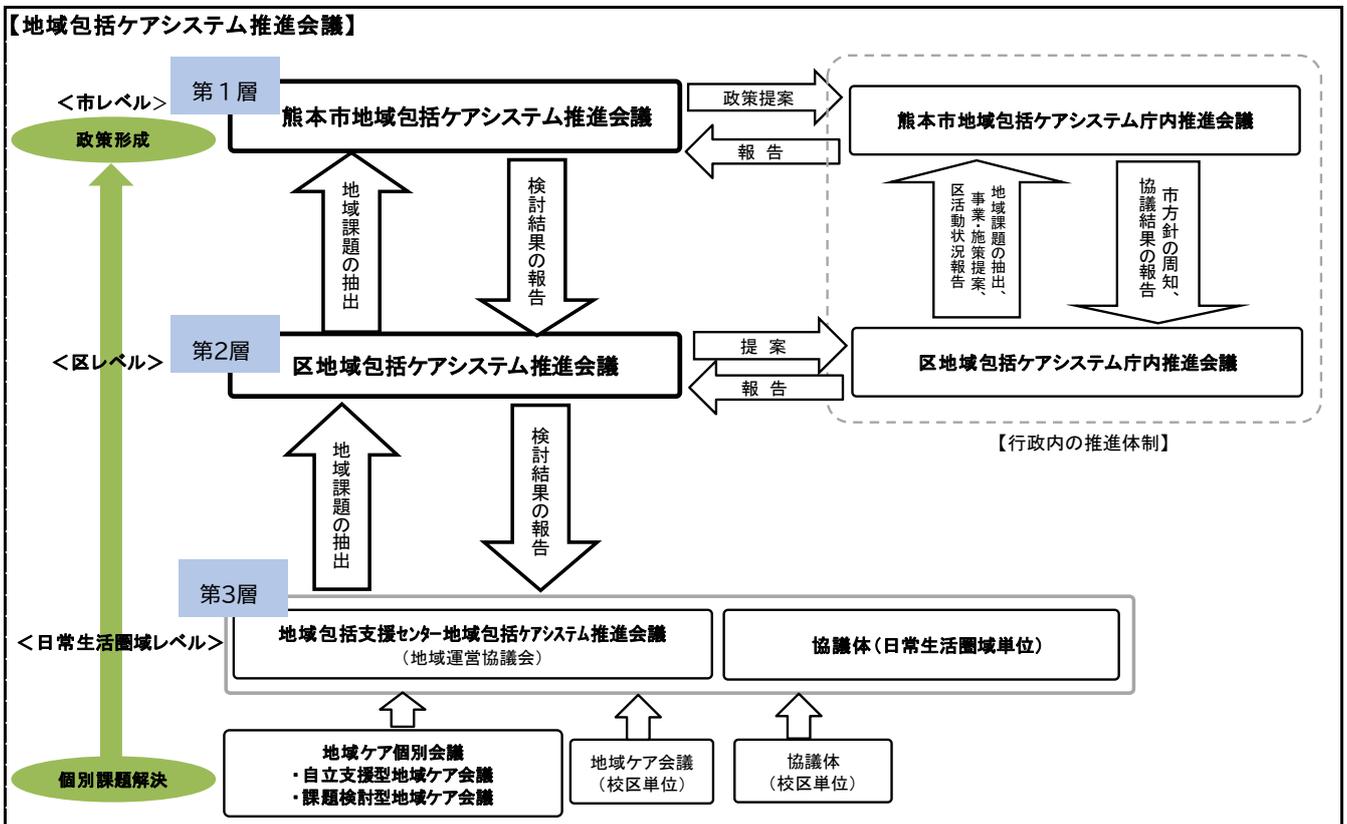


地域包括ケアシステムとは



地域包括ケアシステムとは・・・
 高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供され、地域ぐるみで支え合う体制のこと。

地域包括ケアシステム推進体制



北区地域包括ケアシステム推進方針

方針 1 高齢者等が安心して過ごせる「仕組みづくり」に取り組みます

自治会や民生委員・地域ボランティアなどの地域ボランティアなどの地域組織や医療・介護等事業者や関係機関などがネットワークを構築し、情報を共有して高齢者等を支援する「仕組み」を整備していきます。また、各地域の取り組みに関わる情報を収集し発信することで、他地域へも取り組みの広がりを促していきます。

取り組み状況

認知症高齢者等見守り SOS ネットワーク事業について、関係機関への周知を実施。
認知症カフェや家族介護者のつどい、オレンジサロンの開催。
広報誌・YouTube・LINE 等で講座や活用できる資源を発信。
地域や関係団体と高齢者世帯の把握や見守りについての協議の実施。
生活支援コーディネーターにより移動販売マップの作成中。
熊本市（植木まちづくりセンター）とローソンによる連携事業により、山本校区でのローソン移動販売実験実施。

方針 2 高齢者等と一緒に楽しく過ごせる「場づくり」に取り組みます

高齢者等が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくには、身近な「場づくり」が必要です。新型コロナウイルスの感染対策に取り組みながら、高齢者等が歩いて通える範囲で、住民主体による介護予防や仲間との交流の場を作っていきます。

取り組み状況

サロンや元気くらぶ・地域支え合い型サービスの継続支援、立ち上げ支援。
コロナ禍で休止中のサロンや認知症カフェの再開支援。
サロンの開催支援として、出前講座メニューの作成や講師派遣の支援。
オンラインで体操教室の開催。
運動手帖の配布および活用の促進。

方針 3 高齢者等を地域みんなで支える「人づくり」に取り組みます

地域包括ケアシステムを適切に維持し、発展させていくためには、地域住民や関係者がそれぞれの役割を理解し、人と人とのつながりが実感できる支援の輪を広げていくことが必要です。そのためにも、システムを支える「人づくり」が重要だと考えています。

取り組み状況

認知症サポーター養成講座・小学校での認知症キッズサポーター養成講座の開催。
認知症徘徊者声かけ模擬訓練の実施。
元気くらぶや各種団体、サロン等における介護予防に関する啓発。
介護予防サポーターの活動の場へのつなぎ。
高齢者サロン等のリーダー育成。
高齢者サロン等への協力可能な事業所やボランティアの募集。